
平成26年度 中間決算の概要(9月期)

地方公共団体金融機構

平成26年度中間決算のポイント

- ◇ 経常利益は906億円で、前年同期比77億円減。
中間純利益は154億円で、前年同期比23億円増。
- ◇ 資産総額は貸付金等24兆2,629億円で、前年度比1,616億円増。
負債総額は債券等24兆1,065億円で、前年度比1,480億円増。
純資産総額は利益剰余金等1,563億円で、前年度比136億円増。
- ◇ 地方公共団体健全化基金は9,198億円で、前年度比27億円減。
金利変動準備金は1兆5,400億円で、前年度比2,200億円増。
公庫債権金利変動準備金は1兆9,328億円で、前年度比1,401億円減。
- ◇ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期の**経常利益は906億円**で、前中間期より77億円減少。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を90億円上回ったことが要因。
- ◇ **中間純利益は154億円**で、前中間期より23億円増加。一般勘定の中間純利益が増加したことが要因。

科 目	H26中間(A)	H25中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,195億円	2,333億円	▲138億円
貸付金利息	2,162億円	2,313億円	▲151億円
余資運用益	1億円	2億円	▲1億円
その他	30億円	17億円	13億円
経 常 費 用	1,288億円	1,349億円	▲61億円
債券利息	1,235億円	1,296億円	▲61億円
その他	52億円	53億円	▲1億円
経 常 利 益	906億円	983億円	▲77億円
特 別 利 益	2,246億円	8,752億円	▲6,506億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	8,700億円	▲6,500億円
利差補てん積立金取崩額	46億円	52億円	▲6億円
特 別 損 失	2,998億円	9,605億円	▲6,607億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
公庫債権金利変動準備金繰入額	798億円	905億円	▲107億円
国庫納付金	—	6,500億円	皆減
中 間 純 利 益	154億円	131億円	23億円

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は154億円**で、前中間期より23億円増加。
- ◇ 貸付金利息の増加額が債券利息の増加額を16億円上回ったこと、健全化基金受入額が前中間期より13億円増加したこと等が要因。

科 目	H26中間(A)	H25中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	657億円	574億円	83億円
貸付金利息	597億円	518億円	79億円
余資運用益	1億円	2億円	▲ 1億円
金利スワップ受入利息	2億円	1億円	1億円
健全化基金受入額	27億円	14億円	13億円
健全化基金受取利息	23億円	30億円	▲ 7億円
その他の	5億円	6億円	▲ 1億円
経 常 費 用	502億円	443億円	59億円
債券利息	409億円	346億円	63億円
借入金利息	2億円	1億円	1億円
金利スワップ支払利息	3億円	3億円	▲ 0億円
その他業務費用	16億円	15億円	1億円
営業経費	13億円	12億円	1億円
基金管理勘定繰出金	55億円	61億円	▲ 6億円
その他の	1億円	2億円	▲ 1億円
経 常 利 益	154億円	131億円	23億円
特 別 利 益	2,200億円	2,200億円	—
管理勘定繰入金	2,200億円	2,200億円	—
特 別 損 失	2,200億円	2,200億円	—
金利変動準備金繰入額	2,200億円	2,200億円	—
中 間 純 利 益	154億円	131億円	23億円

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は752億円**で、前中間期より100億円減少。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を106億円上回ったことが要因。
- ◇ 当中間期の**純利益はゼロ**。公庫債権金利変動準備金繰入額の計上を利益の範囲内で行ったことが要因。

科 目	H26中間(A)	H25中間(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,621億円	1,858億円	▲237億円
貸付金利息	1,564億円	1,794億円	▲230億円
基金一般勘定繰入金	55億円	61億円	▲6億円
その他の	1億円	1億円	▲0億円
経 常 費 用	869億円	1,005億円	▲136億円
債券利息	826億円	950億円	▲124億円
健全化基金支払利息	23億円	30億円	▲7億円
その他の	19億円	25億円	▲6億円
経 常 利 益	752億円	852億円	▲100億円
特 別 利 益	2,246億円	8,752億円	▲6,506億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	8,700億円	▲6,500億円
利差補てん積立金取崩額	46億円	52億円	▲6億円
特 別 損 失	2,998億円	9,605億円	▲6,607億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	798億円	905億円	▲107億円
一般勘定繰出金	2,200億円	2,200億円	—
国庫納付金	—	6,500億円	皆減
中 間 純 利 益	—	—	—

資産の状況 [機構全体]

- ◇ 資産総額は24兆2,629億円で、前年度末より1,616億円増加。
- ◇ 現金預け金が、金融商品等受入担保金の増等により前年度末比2,508億円増加したこと等が要因。

科 目	H26.9.30現在(A)	H26.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆1,197億円	23兆829億円	368億円
有 価 証 券	4,089億円	5,339億円	▲1,250億円
現 金 預 け 金	7,179億円	4,671億円	2,508億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	—	3億円	皆減
そ の 他 資 産	121億円	130億円	▲9億円
有 形 固 定 資 産	28億円	28億円	▲0億円
無 形 固 定 資 産	11億円	9億円	2億円
合 計	24兆2,629億円	24兆1,013億円	1,616億円

※ 有価証券・現金預け金の合計 ②61兆1,269億円 ← ②51兆11億円 (+1,258億円)

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 一般勘定における資産総額は11兆2,040億円で、前年度末から8,237億円増加。
- ◇ 管理勘定における資産総額は13兆9,329億円で、前年度末から9,044億円減少。

	科 目	H26.9.30現在 (A)	H26.3.31現在 (B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	9兆8,762億円	9兆1,786億円	6,976億円
	有 価 証 券	4,089億円	5,339億円	▲1,250億円
	現 金 預 け 金	7,179億円	4,671億円	2,508億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	—	3億円	皆減
	そ の 他 資 産	39億円	35億円	4億円
	有 形 固 定 資 産	28億円	28億円	▲0億円
	無 形 固 定 資 産	11億円	9億円	2億円
	地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金 管 理 勘 定 貸	1,928億円	1,928億円	—
	合 計	11兆2,040億円	10兆3,803億円	8,237億円
管 理 勘 定	貸 付 金	13兆2,434億円	13兆9,043億円	▲6,609億円
	そ の 他 資 産	81億円	95億円	▲14億円
	一 般 勘 定 貸	6,812億円	9,234億円	▲2,422億円
	合 計	13兆9,329億円	14兆8,373億円	▲9,044億円

※ 有価証券・現金預け金の合計 ②61兆1,269億円 ← ②51兆11億円 (+1,258億円)

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 中間期末現在の負債総額は24兆1,065億円で、前年度末から1,480億円増加。
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末から389億円増加。当期発行額が償還額を上回ったこと等が要因。
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は前年度末から1,401億円減少。借換益等798億円を積み立てたものの、金利変動準備金への2,200億円の年次繰入を行ったことが要因。

科 目	H26.9.30現在(A)	H26.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
債 券	19兆4,626億円	19兆4,237億円	389億円
借 入 金	755億円	955億円	▲ 200億円
地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金	9,198億円	9,225億円	▲ 27億円
金 利 変 動 準 備 金	1兆5,400億円	1兆3,200億円	2,200億円
公 庫 債 権 金 利 変 動 準 備 金	1兆9,328億円	2兆729億円	▲1,401億円
利 差 補 て ん 積 立 金	610億円	656億円	▲ 46億円
金 融 商 品 等 受 入 担 保 金	1,032億円	435億円	597億円
そ の 他	115億円	145億円	▲ 30億円
合 計	24兆1,065億円	23兆9,585億円	1,480億円

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

◇ 一般勘定の負債総額は11兆1,014億円で、前年度末から8,102億円増加。

◇ 管理勘定の負債総額は13兆8,792億円で、前年度末から9,044億円減少。

	科 目	H26.9.30現在(A)	H26.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	7兆7,789億円	6兆9,832億円	7,957億円
	借 入 金	755億円	955億円	▲ 200億円
	地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金	9,198億円	9,225億円	▲ 27億円
	金 利 変 動 準 備 金	1兆5,400億円	1兆3,200億円	2,200億円
	金 融 商 担 品 等 金	1,032億円	435億円	597億円
	受 入 理 勘 定 借 債	6,812億円	9,234億円	▲2,422億円
	そ の 他	26億円	28億円	▲ 2億円
	合 計	11兆1,014億円	10兆2,912億円	8,102億円
管 理 勘 定	債 券	11兆6,837億円	12兆4,404億円	▲7,567億円
	地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金	1,928億円	1,928億円	—
	一 般 勘 定 借 債	1兆9,328億円	2兆729億円	▲1,401億円
	公 庫 債 権 金	610億円	656億円	▲ 46億円
	金 利 変 動 準 備 金	88億円	117億円	▲ 29億円
	利 差 補 て ん 積 立 金	88億円	117億円	▲ 29億円
そ の 他 負 債	88億円	117億円	▲ 29億円	
	合 計	13兆8,792億円	14兆7,836億円	▲9,044億円

純資産の状況

- ◇ 純資産総額は1,563億円で、前年度末から136億円増加。
- ◇ 一般勘定の間純利益154億円を一般勘定中間未処分利益として計上する一方、金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から19億円減少したことが要因。

科 目	H26.9.30現在(A)	H26.3.31現在(B)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	767億円	767億円	—
一般勘定中間未処分利益	154億円	—	皆増
管理勘定利益積立金	536億円	536億円	—
繰延ヘッジ損益	▲ 61億円	▲ 42億円	▲ 19億円 (うち金利スワップ期中解約分 ▲21億円) うち現存スワップ時価評価分 0億円 うち繰延ヘッジ取崩分 1億円)
合 計	1,563億円	1,427億円	136億円

(参考)平成26年度9月期決算における主要勘定の状況 (単位:億円)

【貸付金】

前期末高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
230,829	8,095	7,727	231,197

【債券】

前期末高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
194,237	12,685	12,296	194,626

【地方公共団体健全化基金】

前期末高 ①	納付金等 ②	基運用益 ③	利下げ補てん 所要額 ④	期末残高 ①+②+③-④
9,225	-	71	99	9,198

【利差補てん積立金】

前期末高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
656	46	610

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	年次繰入 ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	公営企業 債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	13,200	2,200	-	-	15,400
公庫債権金利変動準備金	20,729	▲2,200	55	743	19,328

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。